

スキッパー心得

1. スキッパーの責務

スキッパーは当日の集合から解散までの全ての事項の総責任者です。セーリング中のクルーの安全を確保することは、スキッパーの最大の責務であり、何事にも優先されなければなりません。その為に必要な判断、指示、命令はスキッパーの最も重要な仕事です。

2. 出港から帰港までの諸注意

事故・損傷無く艇を管理、返却するのはスキッパーの二番目の仕事です。以下の点がチェックポイントを列挙します。

イ.「冷却バルブ」は常にオープンになっています。しかし、キャビン内の「ギャレーシンクのバルブ」、「トイレの給水・排水バルブ」及び「トイレ内の洗面用蛇口のバルブ」は「閉」にしておかないと艇がヒールした時に逆流しますので、出港前に必ず確認してください。

ロ. 下架時、上架時はキールとマリンボックスとの接触でキールの塗装に傷が付く事がありますので、必ず立ち会ってください。

ハ. エンジンの配電盤はバッテリーの「 」で始動してください。始動後に冷却水が出ているか確認してください。エンジン始動時に回転数を急激にアップさせるとインペラを損傷させる可能性がありますので絶対に避けてください。往路はバッテリーの「 」を、帰路はバッテリーの「 」を使用して充電してください。

ニ. キャビン内は如何なる時も禁煙です。デッキ上での喫煙に付いては当日のスキッパー判断です。

ホ. ライフベストの着用について、12 歳以下は常時着用、海面に浮くことの出来ない人は常時着用、真の風速が 15 ノットを超えるときは全員ライフベストを着用させてください。又、日没以降は例え無風でもデッキ上は常時ライフベストを着用させてください。

ヘ. 万一の時の通信手段は携帯電話、国際 V H F なります。葉山マリーナのハーバーフロントの電番号は 0 4 6 8 - 7 5 - 7 4 8 6 です。番号登録しておくと思いいます。また、V H F 場合は「77チャンネル」がコールチャンネルです。慣れていない方は出港時にテストしてみてください。

ト. 上架時のベルトの位置は十分に注意してください。バウ側のベルトの位置がオレンジの三角マークよりバウ側（前側）にあればオーケーです。上架の時は 20 トンクレーンしか使えません。スキッパーは上架が終了するまで船台脇に立会い、船に損傷が無い点検してください。

チ. 船体の清掃時に忘れがちなのがトイレです。使用したときはヤカン一杯の清水を上から流し、中の排泄物を完全に排出してください。又、ビルジも完全に排出してください。

リ. 離艇時にはキャビンライト、計器、無線等の電源を「オフ」にし、最後にバッテリーの電源を「オフ」にしてください。ドッグハウスの鍵を掛けて鍵は「ハーバーフロント」に置いて帰ります。

3. 帰港後のこと

「航海日誌」に当日のメンバー、活動内容等、全ての項目を記入してください。特に「点検項目」と「引継事項」必ず記入してください。事故の有無に拘らず、乗船終了後、スキッパーは山本に「終了連絡」を入れてください。電話（090-7193-8340）で結構です。帰宅してからのメールでも結構です。（rxs05054@ybb.ne.jp）